

みはま

第132号



議会だより



～ 神木 本城岩 ～

色彩踊る 議会をより身近に オールカラー 全ページ ALL COLLAR になりました。

主な内容

- 議決結果、議会活動報告 P2～3
- 一般会計予算、臨時議会など P4～6
- 議長からのメッセージ P7
- 一般質問8名が登壇 P8～16
- 特別企画、あの質問どうなった P17
- 渾身の一枚！議員の一押し写真 P18



Googleマップ：地図で場所確認

第 1 回 臨時会 (令和 8 年 1 月 30 日)

第 1 回臨時議会では議案 2 件を審議し、可決されました。

- 専決処分 (令和 7 年度御浜町一般会計補正予算 (第 7 号)) . . . 承認
 - △歳入歳出予算の総額 72 億 2,048 万 5 千円
- 令和 8 年度御浜町一般会計補正予算 (第 8 号) . . . 可決
 - △歳入歳出予算の総額 73 億 5,852 万円

第 1 回 定例会 (令和 8 年 3 月 3 日から 3 月 19 日まで)

第 1 回定例会 (3 月定例会) は、令和 8 年 3 月 3 日に開会され、会期を 3 月 19 日までの 17 日間と決定し、18 日に閉会しました。

初日は、町長の施政方針演説後、選挙管理委員会及び同補充員の選挙、発議 1 件、諮問 1 件、人事案件 2 件、工事請負契約の変更 1 件を審議し、可決、同意しました。その後、12 議案を一括上程し、各常任委員会へ付託しました。

18 日には、各常任委員長の報告の後、付託された案件と追加議案を含め、条例改正 2 件、補正予算 4 件、当初予算 6 件、工事請負契約の締結 1 件の 13 件を審議し、可決しました。

なお、当初予算 6 件の内 1 件は否決されました。

一般質問では 8 人の議員が通告に基づき、それぞれ町政に対する質問、提言を行いました。

第 2 回 臨時会 (令和 8 年 3 月 30 日)

第 2 回臨時議会では議案 1 件を審議し、可決されました。

- 令和 8 年度御浜町一般会計予算 . . . 可決
 - △歳入歳出予算の総額 72 億 8,200 万円

発 議

- 御浜町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正 (案) . . . 可決

諮 問

- 人権擁護委員候補者の推薦 . . .
山崎 知寿美氏 (下市木) を適任と答申

議 案

- 御浜町固定資産評価審査委員会委員の選任 . . .
中垣 和香氏 (阿田和) の選任に同意
- 御浜町教育委員会委員の任命 . . .
宇井 真美氏 (阿田和) の任命に同意

- 工事請負契約の変更 . . . 可決
 - △町道引作線小松橋架替 (旧 A1 橋台撤去) 工事
- 御浜町行政手続条例の一部改正 . . . 可決
- 御浜町消防団員等公務災害補償条例の一部改正 . . . 可決
- 令和 7 年度御浜町一般会計補正予算 (第 9 号) . . . 可決
 - △歳入歳出予算の総額 72 億 7,369 万 1 千円
- 令和 7 年度御浜町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 3 号) . . . 可決
 - △歳入歳出予算の総額 3 億 2,948 万 9 千円
- 令和 7 年度尾呂志診療所事業特別会計補正予算 (第 1 号) . . . 可決
 - △歳入歳出予算の総額 2,186 万 9 千円
- 令和 7 年度御浜町水道事業会計補正予算 (第 3 号) . . . 可決

- △歳入歳出予算の総額 2 億 1,966 万 1 千円
- 令和 8 年度御浜町一般会計予算・・・否決
- △歳入歳出予算の総額 72 億 9,500 万円
- 令和 8 年度御浜町国民健康保険特別会計予算
・・・可決
- △歳入歳出予算の総額 11 億 8,698 万 4 千円
- 令和 8 年度御浜町後期高齢者医療特別会計予算
・・・可決
- △歳入歳出予算の総額 3 億 1,846 万 4 千円
- 令和 8 年度御浜町立尾呂志診療所事業特別会計
予算・・・可決
- 歳入歳出予算の総額 3,547 万 7 千円
- 令和 8 年度御浜町水道事業会計予算
・・・可決
- △収益的収入の予定額 2 億 6,769 万 5 千円
収益的支出の予定額 2 億 1,797 万 9 千円
資本的収入の予定額 1 億 7,665 万 8 千円
資本的支出の予定額 2 億 7,823 万 5 千円
- 令和 8 年度御浜町下水道事業会計予算
・・・可決
- △収益的収入の予定額 1 億 6,897 万円
収益的支出の予定額 1 億 8,203 万 4 千円
資本的収入の予定額 2,540 万 4 千円
資本的支出の予定額 9,445 万 8 千円
- 工事請負契約の締結・・・可決
- △認定こども園阿田和保育園の移転新築に係る
造成工事

その他の活動

議会運営委員会

令和 8 年 2 月 19 日

協議事項

1. 第 1 回定例会について
 - ①定例会等の日程及び上程議案の審議日程等
の協議

全員協議会

令和 8 年 2 月 25 日

説明事項

- ①御浜町行政手続き条例の一部を改正する
条例について
- ②御浜町消防団員等公務災害補償条例の一
部を改正する条例について

- ③御浜町税条例等の改正概要について
- ④御浜町下水道事業経営戦略の改定について
- ⑤町道引作線小松橋架替（旧 A1 橋台撤去）
工事の工事請負契約変更について

報告事項

- ①新校舎建設全庁的プロジェクトの進捗状況
について
- ②新型インフルエンザ等対策行動計画(改訂版)
について

その他事項

- ①市木分団消防車庫の建て替えについて
- ②市木駐在所が建設中である、今後について
- ③神木活性化施設関係事業の状況について
- ④阿田和駅の動向について
- ⑤国道 42 号紀宝熊野道路（仮称御浜 I C 付
近の道路計画の動向について
- ⑥文部科学省が自治体に対し要請された、学校
でのいじめや暴力行為等の実態把握について

総務産業常任委員会

令和 8 年 3 月 10 日

審査事項

1. 付託された 4 件の議案の審査

担当課から補足説明を受けた後、質疑を行い、
審査の最後に討論・採決を行いました。

教育民生常任委員会

令和 8 年 3 月 12 日・13 日

審査事項

1. 付託された 10 件の議案の審査

担当課から補足説明を受けた後、質疑を行い、
審査の最後に討論・採決を行いました。

御浜町地域活性化調査研究特別委員会

令和 8 年 1 月 13 日

協議事項

1. 地域の皆さんと議会との懇談会の実施について

議会だより特別委員会

令和 8 年 1 月 30 日

協議事項

1. 議会だより第 131 号

みはまオレンジ商品券などを配布 <令和8年 第1回臨時会>

令和8年1月30日に開かれた令和8年第1回臨時会において、以下の議案が承認可決されました。議案第2号については、物価高騰対策として「みはまオレンジ商品券」を全町民に配布するなどの議案が可決されました。

1. 審議・可決された主な議案

● 議案第1号：専決処分^{*}の承認を求めることについて

- ・ 内容 衆議院議員総選挙の実施に伴い、緊急に執行された「令和7年度御浜町一般会計補正予算（第7号）」の承認
- ・ 予算額 976万9,000円
- ・ 結果 全会一致で承認

● 議案第2号：令和7年度御浜町一般会計補正予算（第8号）

- ・ 内容 物価高騰対策として、町民1人あたり1万7,000円分の「生活応援商品券（オレンジ商品券）」を配布する事業
- ・ 予算額 1億3,803万5,000円
- ・ 結果 起立多数により可決

みはまオレンジ商品券



5月配布

ちょっと解説 「専決処分」って???

本来であれば議会の議決が必要な事項について、時間的な余裕がない場合などに、首長が議会に代わって意思決定を行うことを指します。

令和8年度 御浜町一般会計予算、異例の「否決」 <令和8年 第1回定例会(3月議会)>

過去最大規模 72億9,500万円「否決」

～避難タワー用地買収費や商品券事業を巡り、議論が紛糾～

令和8年3月18日に開かれた令和8年第1回定例会において、町政の根幹となる「令和8年度御浜町一般会計予算（議案第12号）」が審議されました。過去最大規模の予算編成となった今回ですが、討論では執行部の説明不足や事業の妥当性を問う声が相次ぎ、採決の結果、起立少数により否決されるという極めて異例の事態となりました。

一般会計予算案を巡る主な論点

議案第12号（一般会計予算）では、3名の議員が反対、3名の議員が賛成の立場から熱い討論を展開しました。

【反対意見】

「議会軽視」と「公平性」への疑問



高岡議員



山本議員



磯崎議員

- 志原津波避難タワーの用地取得費（1,000万円） 建設予定地や面積、積算根拠が不明なまま予算計上されており、議会への事前説明が全くない。これは議会のチェック機能を放棄させる「白紙委任」を求めるものであり、議会制民主主義に反する。
- KiiCard商品券配布事業 加盟店が町内店舗の半数にも満たず、非加盟店を排除する仕組みである。町税を原資としながら事業者間で不公平が生じており、行政の中立性に欠ける。
- 保育所・給食センターの業務委託 人手不足の根本原因に向き合わないままの民営化は町民の不利益になる。また、業者選定プロセスにおいて専門家が不在など、食の安全に対する姿勢が不十分である。
- 自衛官募集事務と個人情報保護 除外申請の周知が不十分であり、個人情報保護の措置が徹底されていない。

討 論

【賛成意見】

「未来への投資」と「町の活性化」



南議員



池上議員



野地本議員

- 第6次総合計画の着実な実行 後期基本計画の初年度として、新阿田和保育園や小中学校の新校舎建設、高速道路アクセス道整備など、町の活性化に不可欠な大型事業が盛り込まれている。
- 住民サービスの向上 出産祝い金の新設や物価高騰対策、58の新規事業など、人口減少対策と住民生活の安心・安全を守るための創意工夫が見られる。
- 中長期的な視点 厳しい財源の中で、持続可能な地域社会の実現に向けた「希望ある未来への投資」である。

採決の結果

討論終了後、宇城副議長のもとで起立採決が行われましたが、賛成4、反対5、賛成者が少数にとどまったため、議案第12号（一般会計予算）は否決されました。

令和8年度 御浜町一般会計予算を可決 ＜令和8年 第2回臨時会＞

過去最大規模 72億8,200万円 「可決」

令和8年3月30日、令和8年第2回御浜町議会臨時会が開催されました。今議会では、当初予算案から一部内容を修正した「令和8年度御浜町一般会計予算」が審議され、原案通り可決されました。

■ 予算規模：72億8,200万円

前年度比3億円（4.3%）の増となる予算編成です。第6次御浜町総合計画 後期基本計画の初年度として、「未来への投資」と「DX改革の加速」を柱に掲げています。

■ 令和8年度の主な事業

新年度に予定されている主な新規拡充事業は以下の通りです。

部 門	主な事業内容	予 算 額
総務企画	移住定住促進事業、DX 推進 [*] （システム標準化等）	5,196万円 / 5,276万円
教 育	新校舎建設事業	1億5,422万円
民 生	認定こども園阿田和保育園建設工事	4億2,450万円
衛 生	東紀州広域ごみ処理施設整備	3億6,613万円
土 木	インターアクセス道路整備、踏切道改良	2億円（踏切改良）
農 林	かんきつ振興事業、担い手育成	2,317万円 / 4,042万円

ちょっと解説 ディ・エックス 最近よく耳にするDXとは

DXとは、（デジタルトランスフォーメーション）の略称です。簡単に言うと、「デジタル技術やスマートフォンなどを上手にを使って、私たちの暮らしや行政の仕組みをガラリと便利に変えること」を言います。

ex 役場の窓口に行かなくてもスマートフォンを使って、住民票が取得できたり、保育所の入園手続きができる。

表彰

『おめでとうございます!』

全国町村議会議長会において、野地本隆議員（写真左）が、町議会議員として満15年以上の在職者として自治功労者として表彰されたことから、本会議の冒頭に伝達式が行われました。



令和8年3月議会を終えて

3月議会一般質問登壇に、大変悩みました。議長として議会の円滑な議事進行に徹すべきなのかと。しかし、市木消防車庫建設中止による公金1,500万円の損失と志原地区津波避難タワーの土地購入費1,000万円の根拠のない予算計上について、この2件は議会議員として看過できない案件と判断し行政のチェック機関としての使命と責務を果たす判断をしました。

2件について問う一般質問では、町長は「やむを得ない理由で」や「議員の説明会で説明済み」など質問に答えず不誠実・不適切な答弁を繰り返し、わたくし議長と宇城副議長と南議会運営委員長から質問に誠実に答弁するよう強く注意される有様でした。

私は避難タワー建設を強く望む立場ですが、津波避難タワー土地購入費1,000万円の予算に反対しました。建設予定地が決まっていない、何の事前説明もない中で、土地購入費1,000万円を議会の承認を求めるという事は議会に対し「とにかく認めてください」という白紙委任状を求めることとなります。このような予算計上は、議会軽視そのもので議会制民主主義の本質から見ても不適切な予算計上で到底容認できません。議会は、町民の大事な税金の使い道を最後にチェックする、極めて重い責任と使命があります。このような理由から町民に説明できない予算には賛成することは出来ませんでした。

結局2件の案件の全容が解明されず、議員全員で話し合い、再度、町長に説明を求める事を全議員が承認して全員協議会の開催を要望しました。開催に当たっては、当局からクロード（非公開）での要望がありましたが議員全会一致で否決しました。逆に今回の案件は町民の関心が高いことから防災行政無線で町民に開催の案内を提案しましたが、受け入れていただけませんでした。

最後に市木消防車庫と志原地区津波避難タワーの件で大変お騒がせしています。町長と議会の協議議論を政治的な対立や与野党の対決みたいな受け止めをされている方もいますが、そもそも御浜町議会に対立も対決もありません。

市木消防車庫や志原地区津波避難タワーの問題は町民の生命財産に直接かかわる重大な案件です。

議員は町民の利益を考え真剣に議論している事をご理解いただきたいと思います。



御浜町議会議長 たかおか ひろし 高岡 洋



ここを問いたい（一般質問）



- ① たかおか ひろし 高岡 洋 議員 P 9
 ・町長の政治姿勢(市木消防車庫建設断念による損失1,500万円の詳細と責任について)
 (建設場所が決定していないのに志原地区の津波避難タワー用地買収費1,000万円
 が予算計上されていることについて)
- ② うしろ きみこ 宇城 公子 議員 P 10
 ・寺谷総合公園の整備計画について ・空き家対策について
 ・津波避難タワーについて ・御浜町ごみポイ捨て防止条例について
 ・『砂利浜ウォーキング』のアピールについて
- ③ いそぎき かおるこ 磯崎 薫子 議員 P 11
 ・消防市木分団車庫建て替え問題について
 ・防災問題について
 ・新設校における学校環境政策と児童生徒の健康配慮について
- ④ やまもと あきひこ 山本 章彦 議員 P 12
 ・御浜ならではの観光施策
 ・御浜町交通安全対策
 ・骨髄バンクドナー登録助成事業
- ⑤ まつもと なおき 松本 有希 議員 P 13
 ・南海トラフ巨大地震および大規模風水害を見据えたドローンを活用した防災体制
 について
 ・新校舎建設にともなう廃校施設の維持管理
 ・令和9年度イベント再開に向けての確認
- ⑥ いけがみ かつみ 池上 勝生 議員 P 14
 ・令和8年度当初予算と今後の財政運営について
 ・若者の出逢い支援の充実について
- ⑦ やすだ けいたろう 安田 圭太郎 議員 P 15
 ・ふるさと納税による歳入の現状と、出身者の帰省支援を通じた拡大策について
 ・前回(令和7年第4回定例会)の一般質問に対する進捗と具体化について
- ⑧ のじもと たかし 野地本 隆 議員 P 16
 ・南海トラフ地震にどう備えるか
 ・商工業について



一般質問に関する記事は、質問した議員本人が作成しています！

一般質問とは

議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針等についての所信を聞き、報告や説明を求め疑問点を質す、大事な議員活動の場のことです。議員からの事前の通告に基づいて行われ、特定の議案の審議に際して行われる質疑とは異なり、行財政全般、住民生活に関わる地域の課題や展望など幅広いテーマで行われるものです。



御浜町議会議員
高岡 洋



一般質問動画

崩れる行政への信頼と説明責任

消防車庫建設断念と隠蔽体質と説明なき避難タワー用地選定

Theme 01 | 市木消防車庫の建設中止で公金1,547万円が、ドブに捨てた事が議会の追求で明らかに

質問

なぜ、1年以上前からの問題を議会に全く報告説明しなかったのか？

質問

1,500万円損失を隠蔽、町民に対して絶対許されない背信行為だと思う。正確に説明して下さい。

質問

消防車庫建設中止の決定した事は町長、正しい判断だったのか？

質問

消防車庫建設にあたり隣接地権者に説明して協力を求めたか？

質問

1,500万円損失、最終は町長の責任という事ですが、どのように責任を取るのか？

答弁

議員説明会で説明した通りです。

答弁

議員説明会で説明した通りです。

答弁

やむを得ないと判断した。

答弁

個人情報に抵触するため発言を控える。

答弁

やむを得ない理由です。

【意見】

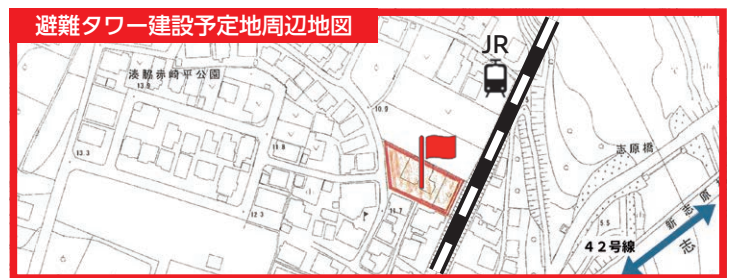
意味不明!!

【意見】

議員説明会のどの答弁を指して言っているのか。これが執行部、首長として誠実な答弁と言えるのだろうか。表題通り「崩れる行政への信頼と説明責任」と感じた一幕であった。

Theme 02

議会に何の説明報告がないまま 志原地区津波避難タワー用地が 決まっている



質問

志原津波避難タワー建設場所は、決まっていますか？

質問

用地買収費1,000万円の予算計上の根拠を示してください。

質問

候補地には町民が住んでいます。家主にいつまでに出て行ったらいいのかと聞いたら町長は「3月末までに」と指示した。意味を伺います。

答弁

決定していません。

答弁

私は一定の候補地を想定しています。

答弁

引っ越し話は聞いた。一定の期間が必要のことだったので、3月末と想定した。

【意見】

建設地決まっていないのに退去日指示。極めて問題が大きく違法性の疑い。

元気な町



御浜町議会議員
宇城 公子



一般質問動画

Theme 01 | 寺谷総合公園の整備計画

質問

3年間で500本ものクマノザクラを植樹することができ、360度パノラマの桜公園が誕生した。御浜町の桜の名所づくりに取り組む準備を少しずつ始めていくべきである。トイレの整備が最も必要である。公園内の遊具は、インクルーシブ公園に切り替えていく方向で整備計画を立てていくことを希望する。



答弁

公園を利用される方に少しでも快適に利用いただけるよう、計画的に整備を進めていけるよう努めてまいりたい。

【要望】 現状のトイレの改修は、今年度中に行い、すぐにトイレの整備計画から取り組んでほしい。



Theme 02 | 空き家の現状と今後の対策

質問

空き家を減らすために行われている対策、新たな取り組みがあるのか？

答弁

固定資産税納税通知書を送る際に、いろいろな説明のパンフレットを納税義務者全員に送付している。相続登記義務化の説明を行っている。

【要望】 防災面からも、空き家の倒壊で逃げ道をふさぐ場合もある。新しいパンフレットを発案し、毎年違ったもので呼び掛けてほしい。

Theme 03 | 志原地区津波避難タワー

質問

次回説明会は、いつごろを予定しているのか。開催時期と報告される内容を問う。

答弁

近いうちに、候補地について説明をさせていただく機会を設ける予定としている。

【要望】 データや知識、専門家の意見をふまえながら、最終決定を急ぐ必要がある。

土地トラブルで消防車庫 建替え不能！

町は法的手段をとらず、トラブルこじれて町民に1,500万円を超える損害が



御浜町議会議員
磯崎 薫子



一般質問動画

Theme 01 | なぜ？トラブル回避策とらず、議会に説明なし

質問

2年前に業務委託契約を締結し設計監理業務として299万円が支払われた後、昨年1月に消防市木分団の車庫建替え工事請負契約締結されたところで、隣地所有者から「その土地は町に貸している」と家族に聞いた。いずれは買い取ってほしい」と申し出がありトラブルに。土地売買により町有となった証拠書類は揃っているが町は法的手段とらず工事不能となり1,500万円余りを逸失した。解決方針と町長の政治責任は？

答弁

やむを得ず建設を断念せざるを得ない状況となった。今後はこのようなことがないように事業を実施していく。売買契約書と公図はあり、町有地だと認識している。最終判断は町長が行った。



【要望】 町は弁護士に相談したというのが当然とるべき法的措置を全く取っていない。工事の足場を組むため隣地に立ち入る許可を隣地所有者から得られなかったという理由で工事請負契約を解除し、設計費と合わせて1,500万円余りの損金を出した。しかし民法上、裁判所に仮処分を申請すれば隣地への立ち入りが許可される公算は大きい。弁護士に一度しか面談せず回避策も法的手段もとらなかったのは異常である。しかも、相手方から「更地に戻すなら足場を組んでよい」と言われ、言われるままに町の専有物である車庫を解体した。また一連のトラブルを議会に一切説明せず予算を翌年度に繰越す承認を得ており、行政として常軌を逸していると言わざるを得ない。今回、一般質問でそのことを問われ、一言一句違わない言葉を繰り返して答弁拒否を図ったことについて、議会運営委員会から注意を受けたことも異例中の異例である。町長の政治的・道義的責任は大きく、今後それらの問題と背景が厳しく問われるべきことはいままでもない。

Theme 02 | 何十キロもの水や食料を背負って津波から逃げられるのか？

質問

三重県は、全市町が南海トラフ地震防災推進地域に指定されている。町はこれまで自助だけを強調して、膨大な予算がかかるという理由をつけて「公助を抑制する発言」を続けており、障がいのある町民に「公助はあきらめた」と言わせるまでになっている。津波来襲時に一週間分の水や食料(数十キロになる)を持って逃げることは不可能。萩内団地自治会が行っているように、町民があらかじめ個人備蓄できる備蓄倉庫を町内各地区に拡大すべきだ。防災施策は机上の空論ではなく「逃げる」を可能にするものを実現すべきだ。

答弁

萩内団地自治会が所有する個人備蓄倉庫については、食料や衣服などの個人備蓄を自治会の防災倉庫で管理する取り組み。そうした優良な取り組みについては自主防災組織のブロック会議等において事例紹介、情報共有するとともに、地域事情に応じた取り組みの促進を支援していく。



Theme 03 | 中立・西原に避難所を

質問

中立、西原地区には公的避難所がなく、両地域とも地質的にみて大地震の際には河岸崩壊する可能性が高いと思われる。そうなると集落は孤立するため、備蓄がなければすぐ命にかかわる状態となる。備蓄倉庫を置くことのできる避難所をどうするかを検討をすぐにはじめてもらいたい。

答弁

大地震のときの指定緊急避難場所は発生時の避難場所であり、屋根のない公共施設を主に選定している。現在中立はコミュニティセンター横のグラウンド、西原は集会所駐車場である。津波の心配はないが安全対策については自主防災組織と連携を図って進める。

【要望】 町が答弁のなかで「避難所」と言っているのは地震後すぐ逃げる場所という意味で、その後「生き延びる」ための場所という意味ではない。中立も西原も、その意味での避難所は尾呂志公民館だが、川岸の地盤はもろく、発災後の移動に大きな危険が伴うことや、道路寸断で地域が孤立するかもしれないことについては、町当局の視野に入っていない可能性がある。今後つきつめた議論が必要である。個人備蓄倉庫の町内各地への配備も、強く求められる。



現町政下では総合計画に掲げる将来像「一人ひとりが幸せを実感し、『みはま』らしく輝くまち」の実現は困難と感じる後ろ向きな答弁



御浜町議会議員
山本 章彦



一般質問動画

Theme 01 | 御浜町ならではの観光施策

質問提案

大畑町長が「地域振興のための観光」を重点施策に掲げて6年が経過するが、具体的に目に見える成果が得られていないことを指摘し、大きな観光地のない御浜町において、集客を図り、飲食店が賑わい、町が活性化する観光施策として、「市木のイブキ」はじめ文化財や「アサギダラの里」等地域の方が取り組まれている観光スポットの情報発信に力を入れること。点在するスポットを線でつなぎ御浜町を楽しんでもらうアイテムとして「紀南シーサイドヴェロフェスタ」を参考に、「東紀州自転車活用推進計画」を具体化し、自転車を活用した観光施策に取り組むことを提案。



市木のイブキ



アサギダラの里

答弁

文化財の観光活用については、交流人口の拡大につなげる視点も重要だが、保存、継承や活用が図られていることが重要で、観光への活用はその延長線上にある。できることをひとつひとつやっていく。と四角四面なまったく積極的でない答弁。(市木のイブキの整備は進められつつありますが)

自転車の観光活用についても、近隣5市町で進めている「東紀州自転車活用推進計画」の概要が説明されただけで、「観光による地域振興」を重点施策として掲げた大畑町長として、このことに力を入れ、目に見える成果を目指す!といった、具体的な前向きな答弁は残念ながらありませんでした。

Theme 02 | 御浜町内交通安全対策

質問提案

三重県では令和7年交通死亡事故が多発、前年よりも13名多い59名(うち熊野・御浜・紀宝で6名)の方が尊い命を亡くされ「交通死亡事故多発警報」を発令する事態となった。

このような悲しい交通事故がおこらないよう交通安全対策を強化する必要があるとして、そのための予算を増やし、消えたセンターラインの引き直し、紀宝町で実施されている「自転車ヘルメット購入助成」や、県内他市町で導入されている「後付けアクセル・ブレーキ踏み間違い防止装置補助金」など、ハード面や制度上の交通安全対策の強化を図ることを提案。(道路境界を示す反射板の設置等限られた予算の中で担当課は対応してくれてはいますが、他の無駄な予算を削り交通安全対策にもっと予算をとるべき)



御浜町の玄関口・メインストリートと言える阿田和駅前前の町道。ラインが何年もの間、殆ど消えたままになっています。

答弁

町長からは、前年比事故件数で20件、人身事故で1件と減少した数値ばかりが述べられ、町内で死亡事故があったことには一切触れず、危機感を全く感じられない答弁がなされました。

町道のライン引きには予算内で対応と答弁されましたが、ヘルメット助成については、同じ協議会の紀宝町が実施しているにも関わらず、南牟婁郡交通安全対策協議会を通じて「着用の努力義務」の啓発に力を入れることのみが答弁され、ペダル踏み間違い防止装置補助金についても、新車には「ペダル踏み間違い時加速抑制装置」が令和10年義務化されると述べ、毎日のようにどこかでこのような事故がおこっているにも関わらず、既存車への後付け補助には全く関心を示されませんでした。(5万円程度で装着可能で南伊勢町等では2万円補助)

Theme 03 | 中立・西原に避難所を

質問提案

これまで2度一般質問で取り上げ、町長から他市町の状況を見て検討。とのみ答弁を受けてきたこの事業。県内で実施する市町は増えており、昨年紀北町でも実施されたことを取り上げ、町内にも白血病の患者さんがおられるなか、町長が思いやりをもってこのような制度を設けることこそが「一人ひとりが幸せを実感し、『みはま』らしく輝くまち」の実現につながるのではないかと提案。



「あなたにしか救えない命があります。」
[骨髓バンクバンク] 提供できる上限55歳に達し、ドナー数が年々減少する「ドナー卒業問題」に直面しています。

答弁

三重県はドナー登録割合が全国最下位で、ドナー登録者を増やすことが大きな課題となっている。三重県骨髓等移植ドナー助成事業補助金が創設され、12市町が制度を導入している。と述べられました。登録の啓発活動を進めていくとの答弁に留まり、導入の意思はまったく示されませんでした。(制度を設けたからといって複数の方が制度を利用し、大きな予算が発生することにはならないのですが…)

【答弁を聞いて】 質問に対し、「他市町の状況を見て検討!」とほぼ答える大畑町長。右に習え!!と思いきや、他市町での実施例を示しても取り組む意思は示されず。今回提案した制度上の事業は大きな予算を伴う訳ではなく、町長の腹づもりひとつで決めることができ、そのことで、町民の皆さん「一人ひとりが幸せを実感」できること、安心安全な暮らしに繋がることとして提案し、前向きな答弁を期待しましたが、後ろ向きな答弁ばかりで、現町政下では「一人ひとりが幸せを実感し、『みはま』らしく輝くまち」の実現は困難と感じざるを得ませんでした。(津波避難タワー1千万円は自分の腹づもりで決めるのに…)

震災対策と跡地利用、そして地域を元気にするイベントの再開を望む



御浜町議会議員
松本 有希



一般質問動画

Theme 01 | ドローンを活用した防災体制の強化

南海トラフ地震等を見据えた孤立対策と備蓄の現状

質問

地理的に孤立リスクが高い本町において、発災後72時間以内の備蓄状況を問う。
また、孤立集落への医療品等の物資運搬被害状況把握のため、ドローンの導入・運用を最善策として提案する。



答弁

備蓄は3日間を自助・共助で対応する方針で、現在17カ所に分散保管している。ドローンは孤立対策に非常に有効な手段であり、物資運搬可能な機種を選定や職員の操作研修など、導入に向けて前向きに検討する。

【客観的評価】 災害時の「命を守る」という観点から、ハード整備だけでなくドローンという最新技術をソフト面に取り入れる具体的提案を行った。行政側から導入に向けた研究・研修の約束を引き出した点は、地域の防災力向上に大きく寄与する成果といえる。

Theme 02 | 廃校施設の維持管理と跡地利活用

学校統合に伴う未利用施設の「負の遺産化」防止

質問

学校統合発生後に発生する6つの未利用施設の放置は、管理コスト増、治安の悪化を招く。新校舎建設と並行して早期の解体や利活用を考えることを提案する。



答弁

令和12年度の開校に向け、プロジェクトの中で、跡地の利用を検討予定。全施設の一斉対応は難しいため、優先順位をつけて対応する。公園利用等の提案も検討材料とする。

【客観的評価】 跡地利用を新校舎建設とセットで全庁的プロジェクトで取り扱うことは成果といえる。しかし、具体的な方針決定は今後とされており、解体費用の財政負担も大きい。次世代へ負担をの残さないよう、スケジュール提示を今後も強く要望したい。

Theme 03 | 地域イベントの再開に向けた支援体制

民間主体イベントへの支援基準の明確化

質問

来年度以降のイベント開催に向け、現在、実行委員会の組織化を進めている。町として成功させるための覚悟を確認したい。特に民間が主体となって動く場合の町側の具体的な考えや、基準の策定状況を問う。

答弁

令和9年度の再開に向け、令和8年度にイベント支援の要綱を作成中である、案ができ次第提示する。

【客観的評価】 質問者の早期開催への熱意に対し、町側は「要綱策定」という行政手続きを優先しており、温度差が見られた。しかし、公的支援を受けるためのルール作りは継続性の観点から不可欠である。策定される要綱が民間の活力を削ぐものにならないよう、内容の精査が次の焦点となる。



令和8年度当初予算と今後の財政運営について

同時期に多額の財政支出を伴う大型重要事業



御浜町議会議員
池上 勝生



一般質問動画

Theme 01 | 当初予算はどのような認識で編成されたのか

【質問背景】 本町では、令和12年開校による学校統合事業、保育園の移転整備事業、高速アクセス道路の整備、紀南病院の財政問題への関与、さらには東紀州広域ごみ処理施設建設に伴う費用負担など、今後、同時期に多額の財政支出を伴う重要事業が予定されています。

質問

学校統合、保育園の移転などといった大型プロジェクトを控え、令和8年度当初予算はどのような認識のもとで編成されたのか、町長の考えを伺います。

答弁

第6次御浜町総合計画後期基本計画の初年度であり、健全で持続可能な行財政運営を堅持して、希望ある未来への投資とDX改革を加速させ、オール御浜で次世代へつなぐまちづくりを推進するための予算となっています。

質問

厳しい財政状況が予想される中、今後の中・長期的財政見通しについての見解は。

答弁

希望ある未来への投資として、令和8年度から11年度にかけて、阿田和保育園移転、御浜町立小中学校新校舎建設など複数の大型事業を計画していることから、事業の財源確保のため 町債の活用等により、一定期間は財政負担が増加することが想定されます。このため、今後、より一層厳しい財政状況となることを見据えた上で、中・長期的視点に立ち、人口減少が進む中であっても健全で持続可能な財政運営となるよう取り組みます。

質問

今回の複数の大型事業は、本町にとって将来の投資である一方、財政運営には慎重さを求められます。今後、持続可能な町としていくため、どのような基本姿勢で対応するのか、また、将来た、未来への責任という観点から、どのようにこの厳しい財政状況を臨むのか。

答弁

令和8年度から12年度まで御浜町の将来に向けての足固めの基礎をつくる期間であると認識しています。大きな事業費を伴う複数の事業を複数予定していますが、中・長期的な財政の見通しを立て取り組みます。現在、公債費が約4億から5億ですが、これが膨らみ一時的には9億、10億と倍ぐらいになっていくと予想されますが、それでも御浜町の場合は持ちこたえるものと考えています。

質問

公債費のピークはいつ頃ですか。

答弁

学校建設が令和11年で終わり12年開校となると、5年位後がピークとなるかを見通しています。

Theme 02 | 若者の出会い支援の充実について

【質問背景】 人口減少や少子化への対応は重要課題である中、若い世代の未婚化、晩婚化の進行は、地域の持続性に大きく関わる課題であると認識しています。一方、結婚を希望していても出会いの機会が少ないという声も聞かれます。



質問

県の結婚支援事業「みえ出会いサポートセンター」の利用状況を把握していますか。

答弁

三重県が設置、運営の「みえ出会いサポートセンター」では、昨年12月からマッチングシステム「みえむすび」への登録により出会いのきっかけづくりを支援しています。令和8年2月末時点での登録者は県全体で708人、東紀州では、24人となっていますが、本町での登録者は今のところいません。本事業は、出会いの機会を広げる有効な手段であると認識しており今後、県との連携、「広報みはま」への掲載等を通じて、若者の出会いの支援に努めます。

歳入を増やし、御浜町に住む皆さんへ

行政は常に模索し、御浜町のみんなが満たされていくための思考を持て！！



御浜町議会議員
安田 圭太郎



質問資料



一般質問動画

Theme 01 | ふるさと納税の戦略的転換

～出身者の「帰省支援」で歳入拡大を～

質問

近年、本町のふるさと納税寄附額は約23%減少し、送料等の経費率も高止まりしています。過去の転出データから、都市部で暮らす本町出身者は数千人規模と推計されます。彼らを戦略的なターゲットと位置づけ、高額な交通費負担を軽減する「高速バス乗車券」や「町内での給油・車両整備クーポン」などを『帰省支援型返礼品』として導入すべきです。送料コストを抑えつつ、町内事業者の売上と直結する歳入拡大を図る考えはないか伺いました。

答弁

出身者の帰省時の経済的・心理的ハードルは認識していますが、現在は特別なアプローチを行えていません。提案のあった交通機関や車での帰省を支援するクーポン型返礼品については、他自治体での先行事例もあることから、総務省の地場産品基準をクリアした上で、町内でしか提供できない魅力的な返礼品として導入を検討する余地は十分にあると考えています。

【安田の総括】 人口データからターゲットを見つけ、交通データからニーズをあぶり出し、ピンポイントで価値を提供する。これこそが行政に今求められる「データドリブン（データ起点の戦略）」です。答弁では「基準をクリアできれば検討する」と前向きな姿勢が示されましたが、「データを眺めて終わり」ではマーケティングとは呼べません。全国的にもまだ競合が少ないブルーオーシャンな施策に対し、前例踏襲の壁を越えて全国に先駆けた行動を起こせるか、今後の本気度が問われます。

Theme 02 | 施策の可視化とデータ活用

～調査結果をどう具体的な「次の一手」に繋げるか～

質問

前回議会で提案した、官民連携の枠組み（関係性の可視化）と観光アンケート等のデータ活用の進捗を伺いました。現在公開されているマーケティングレポートは数字の羅列にとどまっており、「結果を受けて町として次にどうするのか」という戦略が見えません。データを町民に分かりやすいストーリーに「翻訳」して定期発信する仕組みづくりについて、町の現在の見通しと方針を伺いました。

答弁

官民の関係性可視化については対象範囲の整理など課題が多く、現時点でお示しできる時期の明言は困難です。また、レポートに関して「分析や次の一手を書き込むだけの知識・ノウハウが市内に不足している」という課題は認識しています。外部専門家への委託はコストの問題もあるため、今後どのような手法が可能か一緒に考えさせていただきたいです。

【安田の総括】 「市内に分析のノウハウがない」という率直な答弁には誠実さを感じた反面、せっかくのデータが「単なるPDF資料」として眠っており、町の政策立案の資産になり得ていない現状が浮き彫りになりました。最初から100点満点の完璧な図解や分析である必要はなく、まずは「バージョン1」のたたき台を公開し、プロセスを透明化することが重要です。行政がデータを真の戦略的資産として扱えるようになるまで、今後も全庁的な視点で細かく進捗を注視していきます。

導入したい！！「帰省支援型返礼品」
都会で頑張るみんなに、
御浜町から「おかえりなさい」



南海トラフ地震地震に どう備えるか



御浜町議会議員
野地本 隆



一般質問動画

Theme 01 | 南海トラフ地震地震にどう備えるか

質問

住宅の耐震化について補助事業開始からこれまでの取り組みと実績補助事業に取り組む上での課題の認識と公共施設や、産業施設等の耐震について

答弁

木造住宅耐震化に関する補助の実績耐震診断が413件、耐震補強工事25件、取り壊しが108件、町内の公共施設の状況として耐震化率100%、商業施設3階建て以上の耐震化率100%補助金の増額を引き続き行う。

【要望】 住民に直接働きかける取り組みとして戸別訪問があり、御浜町も今後新計画で取り組んでいくとのことなので積極的をお願いします。

Theme 02 | 紀南病院のDMAT災害派遣について

質問

1995年1月17日におきた阪神淡路大震災での教訓から全国的な組織としてDMATが設立された。災害拠点病院に指定されている紀南病院もDMATの設置が義務付けられています。そこで、紀南病院のDMATの現状と課題について

答弁

現在の紀南病院DMAT隊員は医師1名看護師4名業務調整員3名で災害時には三重県からの派遣要請に応じて協力してくれる。隊員を増やすことが課題、引き続き隊員要請研修に参加できるよう三重県に要望していく。

【要望】 DMATがいち早く活動できる環境を整えていただき一人でも多くの命を救えるよう取り組んでいただきたい。

Theme 03 | 商工業支援の強化について

質問

人口が減り続ける中で事業者の多くは高齢化し、後継者が見つからない事業者が増えている、地域の経済をも揺るがす大きな課題。町としての商工振興をどの様に進めていくか。

答弁

町では「みえ熊野古道商工会」を総合的な相談窓口として、経営相談や補助制度の活用支援創業や継業支援にたいして引き続き商工会経営改善普及事業費補助金創業支援補助金、店舗等環境支援補助金等による支援を行ってまいります。KiiCardの下支えやプレミアムデジタル商品券事業の本格実施への支援等、商工振興に向けた支援を継続して進めていく。

【客観的評価】 地域を支える基盤として商工業支援に取り組んでいって欲しい。



令和6年第4回定例会(12月)での提言が形になりました！

議員が過去に行った質問が、その後どのように町の調整を経て実行されたのか。そのプロセスを「追跡」し、住民の皆様へご報告します。

堤防・浜街道に距離表示看板を設置

【提案者：宇城 公子議員】



質問の背景と提案内容

令和6年第4回定例会において、宇城議員より「堤防の距離表示看板」についての質問がありました。現在、堤防は多くの方のウォーキングコースとなっており、また歴史的な「浜街道」を歩く方も増えています。そうした方々が自分の位置や目的地までの距離を把握できる仕組みが必要であるとして、新しい看板の設置を提案されました。

設置によるメリット



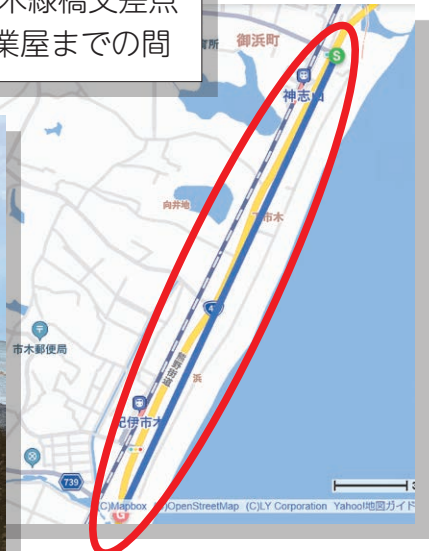
- **健康づくりのサポート**：自分が歩いた距離が可視化されることで、毎日のウォーキングの目安になります。
- **歩行者の安心感**：浜街道を歩く人にとって、現在地を正確に知るための目印となります。町民の方々からも多数の感謝の声をいただいております。

設置場所・看板イメージ

堤防には下記のような表示看板が設置されています。



約2Km 市木緑橋交差点
付近から農業屋までの間



注目ポイント：看板は、ウォーキングコースや浜街道の主要なポイントに配置されています。



尾呂志片川地区桃太郎岩



桃太郎岩と溪流の流れ

(南^{みなみ}州^{くにかず}計議員提供)

～議会を傍聴してみませんか～

本会議はどなたでも傍聴できます。傍聴席は一般席が18席、車椅子で傍聴できるスペースが2台分あります。傍聴を希望される方は、役場庁舎3階の傍聴受付で、住所・氏名を記入のうえ入場してください。

(車椅子で傍聴を希望される方、託児を希望される方は、事前に事務局までご連絡ください。)

※定例会など本会議の様子は、御浜町公式ホームページ『議会録画中継』でご覧いただけます。下記二次元コードを読み込んでご覧ください。



二次元コード

編集 御浜町議会だより特別委員会

委員長 宇城 公子
副委員長 安田 圭太郎
委員 山本 章彦
委員 池上 勝生

発行 三重県南牟婁郡御浜町議会
発行責任者 高岡 洋

〒519-5292

三重県南牟婁郡御浜町大字阿田和6120番地1

TEL 05979-3-0524 FAX 05979-2-3502

E-mail m-gikai@town.mihama.mie.jp